

パスラウンドの取り組みと今後の展望

四国がんセンター 池辺琴映



はじめに

今回、パス専任看護師の交代を機に、パスラウンド（以下、ラウンド）の方法を変更した。ラウンドは、単にパスに対する現場からの意見を集める場ではなく、電子カルテの効率的な活用方法や記録の改善に有用と考えるため報告する。



【ラウンドの目的】

1. 現場のスタッフが、日頃のクリニカルパスの作成・改訂・運用や看護記録、電子カルテの操作について疑問に思っていることやわからないことが解決できる。
2. 現場のスタッフが、効果的にクリニカルパスを活用することができる、きっかけ作りができる。
3. 地域クリニカルパス開発研修室・病院情報室が、今後のクリニカルパス作成・改訂や電子カルテバージョンアップに向けての情報を得ることができる。

【メンバー】

- ・パス専任看護師1名
- ・情報管理室所属看護師1名
- ・医療情報技師1名

前年度まではパス専任看護師1名だけでラウンドしていたが、多角的な情報収集と直接的な支援の実践を目指して、3名体制とした。

【日時・場所】

- ・毎月第2木曜日の14時～15時
- ・病棟（ICUを含む）-外来を巡回する。
- ・1部署5～10分程度

ラウンドはクリニカルパス推進委員会と同日
= パス委員が確実に出勤している日

【周知方法】

- ラウンドの目的・方法・メンバー・場所について、看護師長会で周知
- クリニカルパス推進委員会でパス委員に周知
- ラウンド前日、院内メールで全職員にお知らせ

【各部署でのやり取り】

- パス・記録・電子カルテの困りごとや疑問・要望・相談などについて、パス委員や日々のリーダー看護師を中心に声を掛けて聞く。

結論

- ラウンドでは、各部署からパス、記録、システムに関する様々な疑問や要望を直接スタッフから収集することができた。
- 収集した意見に対して、即日対応できたもの、システム変更を検討したもの、看護記録やクリニカルパスの各委員会での検討・対応を依頼したもの等があった。
- ラウンドは、電子カルテの効率的な活用方法や記録の改善に有用と考えられる。
- 今後もラウンドを継続し、問題・疑問に対して各部署のスタッフと議論を重ねていくことで、パスに関する教育や指導、改訂、そして医療の質の向上につなげていきたい。

結果

項目	内容	即日対応	システム変更を検討	委員会や部門で検討・対応
パス	観察項目・看護ケアの追加・変更に関する要望			●
	化学療法パスの医師指示に関する要望			●
	アウトカム評価回数の変更に関する要望			●
	バリエーション要因選択に関する質問	●		
	パス脱落に関する質問	●		
記録	看護計画の立案・評価に関する質問と要望	●	●	●
	標準看護計画の観察項目に関する要望	●	●	
	重症、医療・看護必要度に関する要望			●
	アナムネの表示に関する要望		●	
システム	禁忌情報の有効活用に関する要望		●	
	作動が遅いパスコンの改善に関する要望	●		
	作動が遅くなる場所の改善に関する要望			●
	検査オーダーに関する要望			●
	採血ラベルの外来-入院区分に関する要望			●

ご清聴ありがとうございました。